



Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyoko Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5568

2017年7月 ~ 2018年6月

会 長 城井 廣邦
副 会 長 櫻井 浩行
直前会長 土井 宏二

国際会長主題 「ともに、光の中を歩もう」
アジア会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事主題 「広げよう ワイズの仲間」
東新部部長主題 「E人（イーヒト）になろう」

書 記 鈴木 健彦
会 計 今井 武彦
担当主事 星野 太郎

2018年 6月例会 (676回)

(強調月間：評価)

今月の聖句

あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。
(詩編119編105節)

Your word is a lamp to my feet and a light for my path.

2018-2019年度 下田会議に出席しよう!!

日時：6月16日(土)・17日(日) 13:00 現地集合

場所：下田・櫻井邸

下田市田牛711-74碁石が浜「0-8-3」0558-23-6120

6月 本例会

日 時 2018年 6月19日(火) 18:00~20:30
場 所 東京YMCA東陽町センター1階 YMCAホール
会 費 1,500円

出欠は6月15日(金)までに今井会計までお知らせ下さい

6月 評価について

クラブ例会・シニアY・Y・Y CAMP・こども食堂・津波の教え石・野尻学荘・他クラブとの交流・東京YMCA等にどのような交わり関わりを持つ事が出来たでしょうか。3年目を目指す我らのシニアキャンプtumikasane 継続は力、小さな力、小さな積み重ねが大きな力。(神保 記)

HAPPY BIRTHDAY

21日 櫻井 浩行 29日 城井 姚子

30日 星野 里奈

結婚記念日おめでとう

該当者なし

6月本例会 プログラム

準備 櫻井浩行、吉田 司、他メンバーが協力

受 付 櫻井 浩行

司 会 星野 太郎

開会点鐘 会 長 城井 廣邦

ワイズソング 一 同

ゲスト・ビジター紹介 司 会

今月の聖句・感謝 鈴木 健彦

楽しい食事

卓 話「元南極越冬隊員の実話物語を聞こう。」

第51次日本南極地域観測隊員 秋元 茂

強調月間アピール 神保伊和雄

ハッピーバースデー・結婚記念 司 会

スマイル 今井 武彦

諸報告 各 担 当 者

閉会挨拶 副会長 櫻井 浩行

閉会点鐘 会 長 城井 廣邦

2018年 5月 の 記 録 (*累計は期初からの24累計)

会 員 出 席 状 況		メーキャップ記録		スマイル	0 円
正 会 員	14 名	出席(メネット)	2 名	BFポイント	現金累計 0 円
功 労 会 員	1 名	出席(コメット)	0 名	長谷川正雄	5/22第二例会
在籍者数	15 名	出席(ゲスト)	15 名	吉田 紘子	4/24第二例会
出席(正会員)	9 名	出席(ビジター)	4 名	リングプル	累 計 422.76 Kg
出席(功労会員)	0 名	例会出席総数	30 名	出席率	79%
				むかで基金	今月分 10,000 円

会費振込先 みずほ銀行 津田沼支店 普通預金 2406490 東京むかでワイズメンズクラブ

5 月 本 例 会 報 告

東京むかでワイズメンズクラブ5月本例会は、通常の例会日を一日繰り上げて、シニアY・Y・Yキャンプ期間中の5月14日(月)午後6時より、東京YMCA山中湖センターの食堂において行われました。

伊丹一之君の司会、城井廣邦会長による木槌の殴打で例会がスタート、一同でワイズソングを歌い、司会者がゲスト・ビジターの紹介をしました。

引き続き、今年度初の入会式が行われました。新入会者は、城井会長の友人で、1950年、東京都葛飾区生まれで、美術展フリーランス・キュレーター／コーディネーターをしている新藤真知(まこと、本名・信)さん。櫻井浩行君の司式により、一同が見守る中で入会式辞の朗読がなされ、新藤さんは力強く「入会します」との宣言をして、皆の拍手の中で、東京むかでクラブへの入会をされました。



【山中湖センターで行われた新藤真知さんの入会式】

入会式後は「楽しい食事」。むかでメンバーを中心に配膳を行い、いつもよりちょっぴり豪華に思える夕食をいただきました。

本日の卓話は、東新部次期部長でもある神保伊和雄君から、「むかでクラブ創立記念日に寄せて」というタイトルで話していただきました。

「東京むかでワイズメンズクラブは、YMCAのキャンプの歴史と切り離すことはできません。1923年に山中湖のキャンプ場が作られ、その後1932年からは野尻湖にキャンプ場が出来、『野尻学荘』という5週間の少年キャンプが始まりました。これら山中、野尻のキャンプ場を、私費を投じて開発し、YMCAに寄贈した人が、『むかで屋』という砂糖問屋の社長でした。

東京むかでクラブは1961年5月にワイズメンズクラブ国際協会から認証を受けて活動を始めましたが、創立に寄与したメンバーは、野尻学荘出身者が多く、『むかで屋』にあやかって名前を付けたというわけです。

その後、クラブの活動は、野尻キャンプ場へキャビンの寄贈をはじめ、ヨットやカヌー、ボートの寄贈などを行ってきました。また、障害のある人と共にダンスを楽しむ『ユニ

ークダンス・パーティー』の開催、缶飲料のプルトップを集めて車いすを獲得する活動、東北の津波被災地に『津波の教え石』を建立する活動など、多くのサービス活動を行っています。

卓話の後には、高津君によるEF/JEFについての強調月間アピール、そして5名の方に誕生日祝いと結婚記念日祝いを差し上げ、城井会長から南極越冬隊員の卓話を聞く6月例会のアピールがあり、閉会挨拶を櫻井副会長が述べ、城井会長の木槌の合図で5月例会を閉じました。

(伊丹 記)

出席者:城井、城井メ、伊丹、今井、櫻井、新藤、神保、鈴木、高津、高津メ、吉田司

キャンプ参加者:森井利夫、田下昌人、佐々木信次郎、熊田靖子、西村栄子、五十嵐和子、五賀和子、塩田瑞代、長谷部哲子、小田浩成、福浦裕一、藤井博之、藤井啓子

ゲスト:鈴木史子(ジャズヴォーカル)、大森史子(ピアノ)

ビジター:飯野毅与志(東京山手)、村野繁(東京世田谷)、谷治英俊(東京まちだ)、佐藤茂美(東京)

(敬称略)

東京むかでクラブ入会への思い

新しく入会をさせて戴きました。

高齢者にカテゴライズされてから未だ年数も浅いのですが、現場仕事を続けているためかその自覚はなく、若造に留まっています。

これからは諸先輩方の叡智に学びながら日々感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思っております。

どうかご指導の程よろしく申し上げます。

(新藤 真知 記)

5 月 第 二 例 会 報 告

5月の第二例会は、5月22日(火)午後6時30分より東京YMCA東陽町センター「タイアス・カフェテリア」で開催されました。主な検討、協議事項は下記の通りです。

- 1 ブリテン6月号の編集方針、原稿内容の確認。シニアY・Y・Yキャンプ報告は3頁分とし、全6頁構成とする。卓話の案内書はブリテンに添付、印刷挟み込みを行い、事前にワイズドットコムで配信する (城井会長)
- 2 下田会議記録は、高津君がまとめ、6月14日までにメンバーに配信、各自コピーを持参し、協議資料とする。
- 3 土井君からの退会申し出について、神保君が対応に当たる。
- 4 野尻ファミリーキャンプについて
8月15日(水)・16日(木)・17日(金)を予定し、現地との打ち合わせを早々に行う。 (城井会長、鈴木君)
- 5 他・東日本区大会出席者、当クラブから6名予定。

・東京YMCA会員芸術祭の報告。

出席者 城井、伊丹、今井、櫻井、鈴木、神保、高津、長谷川

(長谷川 記)

第2回 シニアY・Y・Yキャンプ実施報告

主催 東京むかでワイズメンズクラブ
特別協賛 ワイズメンズクラブ東日本区 東新部
後援 東京YMCA野外教育部・フットマーク(株)

2018年5月12日(土)～15日(火)、東京YMCA山中湖センターで第2回シニアY・Y・Yキャンプが、総勢57名の参加者を得て実施されました。どのようなキャンプだったかを皆さんに紹介します。このキャンプは、東京むかでワイズメンズクラブが長年続けていた障害者を対象にした「ユニークダンス・パーティー」がその役割を終えて終了したのを受け、我々の次のなすべきことを検討している中で生まれてきました。

我々の東京むかでワイズメンズクラブはそのクラブ名が示すように、YMCAの青少年キャンプの育生を計られた小林弥太郎氏の経営された会社「むかで屋」の名前にちなんで付けられました。その由来はクラブを結成したメンバーの多くが、小林氏がYMCAに寄贈された山中や野尻のキャンプ場で青少年時代を過ごしたキャンプの仲間達だからです。そのため我々はキャンプに深い関心を持っていました。また最近の社会的な問題として、シニア世代の過ごし方が大きく取りあげられています。そこで我々と同世代の仲間が集まり、かつての楽しかったキャンプをやろうと考えました。

しかし少年時代とまったく同じキャンプはできません。かつてのように細かく時間に縛られたキャンプではなく、ゆっくり、ゆったりと時間を過せるキャンプを考える事にしました。

- 1 同時刻に幾つかのプログラムを用意して、プログラムを選択して参加してもらう。勿論、自分の体調に合わせてプログラムに参加しなくても良い。
- 2 幾つか皆で楽しめるプログラムを用意する。落語、コンサート、ゲームなど。
- 3 なるべく参加者の自主性を最優先にプログラムを進める。

以上の原則のもとにキャンプを実施しています。

第2回シニアY・Y・Yキャンプの内容

5月12日(土) 初日 (当番リーダー 城井廣邦君)

曇り、肌寒い

キャンプ実行スタッフ(むかでメンバー、メンバー以外のキャンプ支援者)が午前中にキャンプ場に入り、準備を整えました。13:00からキャンプ参加者の受け付けが開始され、参加者にはフットマーク(株)の提供によるキャンプTシャツと前かけが渡されました。参加したキャンパーは一旦宿泊キャビンに荷物を置き、13:45にはメインポール前に集合、シニアY・Y・Yキャンプのキャンプ歌「美しい湖水」を歌いながらの旗揚げと、キャンプ

実行委員長の挨拶でキャンプの開会式が行われました。今回のキャンプからフットマーク(株)の提供で製作されたシニアY・Y・Yキャンプの旗が掲揚されました。

14:00からキャンプのオリエンテーションが行われました。次いで前会と同様、各自、自分の名前を記した「命(いのち)と呼ばれる木片の名札を作りました。ただ今年は「命」に書かれた名字が読みにくいとの意見があり、通状の名札も併用しました。初日はこのあと夕食まで自由時間です。

17:00に旗下げが行われ、18:00から夕食です。夕食は「ごはんの歌」、「日々の糧」を歌い、食前の感謝のあと食事となりました。

歌の指導は我々のキャンプを支援してくださる田下昌人氏がギターやバンジウを用いて行いました。また、久しぶりにむかでの行事に参加して下さった森井利夫氏がオルガンの伴奏を入れ、キャンプの雰囲気をも盛り上げて下さいました。食事の後は次のプログラムであるオープニングファイヤーで歌う、田下昌人氏作詞のシニアY・Y・Yキャンプ応援歌を田下氏の指導で練習して夕食を終えました。



【キャンプの開会はキャンプファイヤーから】

19:20からファイヤープレスに集合し、厳かに点火式を行い、数曲のキャンプソングを歌い、開会式キャンプファイヤーを行いました。



【春風亭昇吉さんの落語を楽しみました】

20:20から今日の夜の催しである「寄席」が行われました。落語は二題、落語家 春風亭昇吉さんをお願いしました。最初に落語イベントの企画をされている茨城

さんの紹介があり、日本の文化としての落語について桜美林大学の守田梢路先生の解説がありました。落語は、絶妙な話術で参加者が引きつけられ、楽しい時間でした。寄せの後は、その場を片付けて、櫻井亭談話室が開かれました。そのまま流れ解散で眠りに就きました。

5月13日(日) 2日目 (当番リーダー 福浦祐一氏)

今日の当番リーダーの福浦氏はシニアY・Y・Yキャンプの支援者です。午前薄曇り、午後、雨、肌寒い



6:00起床で6:30メインポーチの前で、「美しい湖水」を歌いながら旗揚げ、朝の体操をしました。【写真】

6:45からグリーンチャペルに移り、神保伊和雄君の司式で森井利夫先生が、ご自分の生涯とYMCAとの関わり、またYMCAの歴史について語られました。



【笠をかぶった富士山をバックに記念写真】

7:15から朝食、「ごはんの歌」、「日々の糧」と続いて、感謝の祈りの後、食事となりました。



【城井君をリーダーに、スケッチ教室】

9:30からフリーチョイスプログラム(各自が自分のしたいプログラムを選択する)を行いました。選択プログラムには、スケッチ、写真、水上、書道、野草生け花、キャンプソング、俳句、温泉、その他室内ゲームなどが用意され、皆さんフリーチョイスプログラムを楽しまれ、美しく素晴らしい作品が作られました。

12:00から昼食、13:00から本日の特別プログラムである、「ポッチャ」を桜美林大学・谷内考行先生とそのゼミの学生の皆さんの指導で楽しみました。ポッチャはパラリンピックでの競技種目の1つです。2組のチームが前方に投げられた白いボールに向かってチームのメンバーがボールを投げ、目標の白いボールの近くに投げたチームを勝ちとするルールです。投げるボールは適当に重く、ぶつければ、他のボールを動かしますが、お手玉のように柔らかく反射しないボールなので加減が難しく、名プレー、珍プレーが続出、皆の笑い声が絶えないゲームでした。【写真=ポッチャを楽しむ】



15:00からは自由時間と野点のプログラムでしたが、雨なので野点は建物内で行われました。18:00から夕食、19:00から5人のメンバーで古き良きアメリカを思い出させるブルーグラスコンサート。22:00からは櫻井亭が開かれました。【「グラスデュー」によるコンサート】

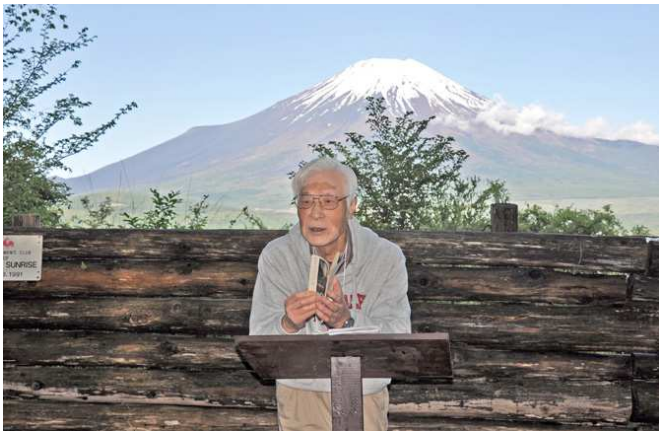


5月14日(月) 3日目 (当番リーダー神保伊和雄君)

晴れ、日差しが暖かい

6:00起床、6:30「美しい湖水」に合わせて旗揚げをしました。その後グリーンチャペルに移って、鈴木健彦君の司式のもと、昨日に引き続き森井利夫先生に

YMCAの歴史について語っていただきました。



【森井利夫先生による朝の講和】

7:15から朝食。9:30から昨日と同じようにフリーチョイスプログラムが行われた。今日はプログラムの一つ、野草生花が習字に変わりました。高津メネットが両方のプログラムを担当されていたからです。書道も筆を使うだけでなく、丸めた紙や松ぼっくりで字を書く表現力の多様性に、芸術性を見出す実に楽しいプログラムで、高津メネットのセンスの良さを感じました。【写真下】



フリーチョイスプログラムは昼食を挟んで午後まで続きました。15:00からは晴天のもと広場に赤い毛氈を敷いて野点が行われました。【大木の下で野点を楽しむ】



夕食はキャンプ参加メンバーが集り、東京むかでワイズメンズクラブの5月本例会を行いました。本例会で新人メンバーの新藤真知さんの入会式が行われましたが、詳しい内容は5月例会の記事に譲ります。

夜は、ピアノ・大森史子氏、ボーカル・鈴木史子氏の

2人の史子氏をお迎えし、楽しいジャズコンサートが開かれました。ジャズの後は櫻井亭が開かれ、楽しい談笑のうちに1日を終わりました。



【暖炉のぬくもりの中でジャズを楽しみました】

5月15日(火) 最終日 (当番リーダー鈴木健彦君)

晴れ、温かい

6:00起床、6:30の旗揚げ、7:00食事のあと「松ボックリ・フライングゲーム」を行いました。吉田司君の指導のもと、吉田君の手作りの箱に松ボックリを投込み、入った箱に与えられた得点数を競い合うゲームでした。松ボックリのコントロールがきかないのと、入ってもはじき出されるので大騒ぎでした。【ゲーム風景】



その後食堂に戻り、各プログラムリーダーから成果が披露され報告されました。11:45メインポールの前に集まり美しい湖水の歌で旗下げ、むかでワイズメンズクラブ城井会長の閉会挨拶【写真】でキャンプを終了しました。



参加者は前回よりも楽しめた、楽しかったと評価が多かったのに加え、無事故での

打ち上げが何よりでした。(鈴木 記) (伊丹 写真)

会 長 通 信

5月12日～15日、3泊4日のシニアY・Y・Yキャンプを無事に終えることが出来ました。今年も一般の方の参加も多く、目的を達成出来たものと考えています。

私達ワイズメンズクラブが直面している会員の減少は、多くの課題の結果だと考えています。一つひとつきちんと向き合って課題を解決したいと思いつつも、与えられた時間の中では限界がありそうです。現役で仕事をしてワイズに時間を割くことは、時として身を削ることにもなっており、悩むことが多いのが現実です。

常に前を見て新しいテーマに取り組みたいと考えています。これから一般の方に共感され、入会頂けるクラブになるために、多くの努力と皆様の協力が不可欠と考えています。

ボランティア活動のあり方、クラブ間の交流等、メンバーの方々によって色々ありますが、私は私の考える「楽しむ東京むかで」に進んでゆきたいと思えます。これからの人生は残された人生と考え、自分が納得のゆく志を持ってやっていきたいと考えます。意見の違いがあるのは当然、だから多くの意見の元、幅広い活動になると信じています。

(城井 記)

<6月の予定>

- 2日(土)～3日(日) 第21回 東日本区大会(沼津)
- 5日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会
- 5日(火) 東京多摩みなみ・6月本例会
- 11日(月) 東京まちだ・6月本例会
- 12日(火) 東京・6月本例会
- 15日(金) 東京世田谷・6月本例会
- 16日(土)～17日(日) 下田会議(下田 櫻井邸)
- 19日(火) 東京むかで・6月本例会
- 19日(火) 東京センテニアル・6月本例会(変更)
- 23日(土) 東京コスモス・6月本例会
- 26日(火) 東京むかで・6月第二例会

<7月以降の予定>

- 3日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会
- 11日(水) 第1回東新部役員会
- 14日(土) 第1回東新部評議会
- 17日(火) 東京むかで・7月本例会
- 24日(火) 東京むかで・7月第二例会

東京YMCAニュース

◇ 会員大会・芸術祭へのご参加とご協力に感謝！！

5月26日開催の第16回東京YMCA会員大会は114名の参加があり、皆様のご協力のもと盛況の内に開催されました。2017年度の事業や活動の報告に加え、野尻学荘やチャイルドケア事業などのブース報告も好評でした。ユースボランティアも大勢かけつけ、活気ある大会

になりました。会場には会員芸術祭の見事な作品も並び、来場者に大変好評でした。むかでクラブの皆さんからも多数の出品を頂きましたこと、会員大会へのご協力と合せて感謝いたします。

◇ 第716回 東京YMCA午餐会

歌って、食べて、恋をする国、イタリア。イタリア人にとって人生を謳歌する三大要素のひとつが、歌うことなのかもしれません。イタリアといえばルネサンス文化のもたらした最高の果実であるオペラを作り出した国でもあります。「歌いながら語る」技は現在もなおベルカント唱法として受け継がれています。お話しに加えて特別演奏も予定されています。

【テーマ】「イタリアの歌をめぐって」

【卓話者】森田 学氏(二期会イタリア歌曲研究会 他)

【と き】2018年6月25日(月) 12:00～13:30

【ところ】東京大学YMCA(南北線 東大前駅0分)

【参加費】3,000円(昼食つき)

【申込み】賛助会事務局 sanjo@tokyoymca.org

TEL: 03-6302-1960 (星野 記)

5 月 会 計 報 告 他

1. 月間収入・支出合計 期間5/1～5/31

口座名	月間収入額	月間支出額
一般口	56,000円	67,468円
ファンド口	10,000円	50,000円

一般口主要収入 事業資金補填 50千円

東新部補助 6千円

一般口主要支出 シニアキャンプ支援 50千円

切手代 30千円 図書カード 5千円

新入会登録 6千円

在京会長会費 3千円

ファンド口主要収入 長谷川君寄付 10千円

ファンド口主要支出 事業資金支援金 50千円

(今井 記)

2. リングプル5月預かり

今月は、年度代わりに付き久々の休憩の時になりました。7月新年度から、残り300kgを頑張りましょう。(神保 記)

編 集 後 記

今期最終の6月号をお届けします。

第2回シニアY・Y・Yキャンプ報告に3頁確保しました。現地からプログラムの歓びを、少しでもお伝えできれば何よりです。又、来期は東新部神保部長のサポートクラブとしての力が試されます。想いを新たに7月を迎えたいものです。

1年間のお互いの労に感謝！！ (長谷川 記)